



## 西宮市保健所での学外実習



西宮市保健所にて学外実習を行いました。

保健所では、地域の皆さんが健康に暮らせるよう、保健・医療、食品衛生や生活環境など市民生活に密接に関わる様々な取り組みを行っています。こうした幅広いニーズに対応するため、医師、保健師、獣医師、薬剤師、精神保健福祉士、心理士など**多様な職種**が**それぞれの専門性**を活かして**協働**しています。

今回は、健康の増進に関する知識の普及や施策の総合的企画・調整を行う「健康増進課」の井戸りか先生に西宮市保健所における心理士の業務内容とその役割について詳しくお話を伺いました。



## 井戸先生のお話

井戸先生のご講義では、**ひきこもり支援**について、また心理士としての心がけについて学びました。日常的にご本人とご家族が密接に関わっていると、**小さな変化に気づきにくくなる**ことがあるため、心理士が**第三者の視点**から**気づきを促す**役割の重要性を学びました。また、ご本人やご家族と共に考え、**寄り添う姿勢を示す**ことが、**安心感を与える大切な要素**であることも知りました。

さらに、相談業務だけでなく、**こころに関する知識を地域に広める**ため、講座の企画や運営にも積極的に取り組んでおられることがわかりました。



## 施設について

実際に西宮市保健所の施設内を見学させていただきました。相談に使用される部屋は、**シンプルな部屋で落ち着いた雰囲気**が感じられました。

また、健康増進課では健康づくり・精神保健・成人保健・フレイル対策・西宮いきいき体操・保健業務調査の**6チーム**に分かれ、それぞれの業務に取り組みながらも、必要に応じて互いに相談し合う姿が印象的でした。職員同士の関係も親密で、**協力しながら業務を進めている様子**が伺えました。



## 編集後記

大変お忙しいところ、ご講義いただきました井戸りか先生、また見学の際に快く迎え入れてくださった職員の皆様に心より感謝申し上げます。

作成：野村 写真撮影：安蕪